

ツバメ学習会

一年をとおしていつでも、県内各地の小学校の教室などで、ふるさとのツバメ総調査の概要をはじめ、校区の生息状況やツバメの生態などをわかりやすく学ぶ「ツバメ学習会」を実施しています。

児童は、「ツバメクイズ」に答えながら、ツバメの巣、卵の殻などの本物に触れてツバメについての理解を深めます。



巣立ちが近いヒナ
(金沢市内のガソリンスタンド)

学習会の様子



ツバメが渡っていく南の国を確認する児童



マレーシア
(Kabong)にて撮影

提供：加藤 和明

南の国に渡ったツバメは巣を作しません。都会では電線、川や潟があるところでは、アシ原などで夜を過ごします。



親子参加の「ツバメ学習会」
パネル展を同時開催



「ツバメクイズ」に答える児童



巣や卵の模型をみて、どの
ツバメのものかを考えている児童



ツバメとスズメの剥製で、
体のつくりの違いを見る児童

ふるさとのツバメ総調査作品コンクール

第35回調査（平成18年度）から、「ふるさとのツバメ総調査作品コンクール」を実施しています。このコンクールには、「感想文の部」と「記録・観察作品の部」があります。

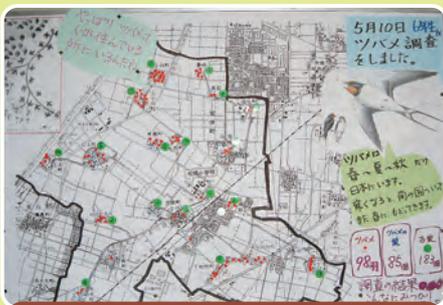
感想文の部（受賞作品の一部抜粋）

「すみません。私は〇〇小学校の6年生ですが・・・。」私たちは1軒1軒の家を回ってこの言葉を繰り返した。どこかのセールスの人みたいと思いながらピンポンを押し続け「ツバメはいますか」と言っていた。地域の人たちは、私たちの話をうなずきながら、熱心に聞いてくれた。それに「ごくろうさま。がんばってね。」と言ってくれた。私はとてもうれしかった。言葉ってすごいなと思った。私はツバメ調査をとおして、ツバメが私たちには必要だということ、ツバメが住みやすい環境を作らなければならないということが分かった。（第35回（平成18年度））

親鳥が来るとヒナは大きな口をあけて、ピーピー鳴いていました。おもしろかったのは、のき下の電気がついているとき、ヒナは巣の中にいるのだけれど、電気を消すとヒナがいっせいに口をあけました。これは、親ツバメが巣の上にくると影になるので、たぶんヒナはそれと勘違いしたのだと思いました。（第36回（平成19年度））

大事な自転車にフンを落とされてツバメが好きになれませんでした。でも今の私はツバメが好きで、大切に思っています。ツバメ調査は、「幸せを運んでくれる鳥だから、幸せになれそうに歓迎している。」「ツバメのために、春や夏の間、車庫のシャッターを開けたままにしている。」など、地域の人たちの優しい気持ちを知るととてもいい心の授業になりました。この地域が前よりもっと好きになりました。（第37回（平成20年度））

記録・観察作品の部（受賞作品の一部）



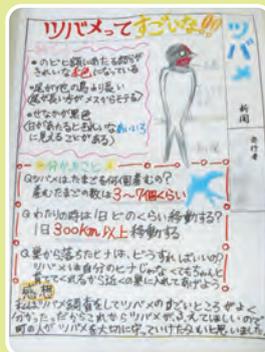
巣のあった場所にシールをはった、ツバメのお宿地図



調査結果をまとめたツバメ新聞



地域別調査結果などをまとめたレポート



児童一人ひとりが作成したツバメ新聞



ツバメのお宿シール原画コンクール

第34回調査（平成17年度）から、健民運動推進本部ではツバメの巣がある家の玄関などに張る目印のシールを作成しています。

ツバメの巣がある家が目印でわかるため、次年度以降の観察が容易になります。

地域の人にシールを手渡す際には、ツバメを家族の一員として見守っている様子を聞くことができ、ツバメをとおして、地域の人々との交流を深めることができます。

第35回調査（平成18年度）から、「ツバメのお宿シール原画コンクール」を実施し、お宿シールのデザインを公募しています。最優秀賞の原画が次年度の「ツバメのお宿シール」に採用されています。



ツバメのお宿シール

第34回（平成17年）	第35回（平成18年）	第36回（平成19年）
第37回（平成20年）	第38回（平成21年）	第39回（平成22年）

表彰式とパネル展

「ふるさとのツバメ総調査作品コンクール」と「ツバメのお宿シール原画コンクール」の表彰式及び「ふるさとのツバメ総調査パネル展」と「ツバメのお宿シール原画展」を開催し、入賞作品等を展示するとともに、ツバメ調査の概要などを県民の皆さんに周知しています。

表彰式の様子



ツバメのお宿シール原画展



ふるさとのツバメ総調査パネル展



「記録・観察作品の部」



「感想文の部」

応募数

部門 \ 回(年度)	第35回 (平成18年)	第36回 (平成19年)	第37回 (平成20年)	第38回 (平成21年)
感想文の部	280点	307点	324点	541点
記録観察作品の部	15校	14校	8校	8校
ツバメのお宿シール原画	208点	885点	1,121点	1,085点

各部門より、最優秀賞1点、優秀賞1～2点、佳作数点を選んでいます。
ツバメのお宿シールについては、前年にデザインを募集し次年度用を制作します。

